【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和4年8月25日(2022.8.25)

【国際公開番号】WO2021/132405
【出願番号】特願2021-567582(P2021-567582)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　4/13(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/66(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/505(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/525(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/62(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/131(2010.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　4/13
Ｈ０１Ｍ　4/66　　Ａ
Ｈ０１Ｍ　4/505
Ｈ０１Ｍ　4/525
Ｈ０１Ｍ　4/62　　Ｚ
Ｈ０１Ｍ　4/131

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月2日(2022.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電極合材層と、
電極集電体層と、
を備えた電極であって、
前記電極集電体層は、前記電極合材層と接触しており、
前記電極合材層は、固体電解質材料および活物質を含み、
前記固体電解質材料は、Ｌｉ、Ｍ、およびＸを含み、
前記Ｍは、Ｌｉ以外の金属元素および半金属元素からなる群より選択される少なくとも１種であり、
前記Ｘは、Ｆ、Ｃｌ、Ｂｒ、およびＩからなる群より選択される少なくとも１種であり、
前記電極集電体層は、アルミニウム合金を含み、
前記電極集電体層において、前記電極合材層に接触している表面材料における銅含有率が、５０質量％未満である、
電極。
【請求項２】
前記表面材料における銅含有率が、４．５質量％以下である、
請求項１に記載の電極。
【請求項３】
前記表面材料における銅含有率が、０．０５質量％以上、かつ０．２０質量％以下である、

請求項２に記載の電極。
【請求項４】
前記固体電解質材料は、下記の組成式（１）により表され、
ＬｉαＭβＸγ　・・・式（１）
ここで、前記α、前記β、および前記γは、いずれも０より大きい値である、
請求項１から３のいずれか一項に記載の電極。
【請求項５】
前記Ｍは、イットリウムを含む、
請求項１から４のいずれか一項に記載の電極。
【請求項６】
前記電極集電体層は、主成分としてアルミニウムを含む、
請求項１から５のいずれか一項に記載の電極。
【請求項７】
前記電極集電体層は、アルミニウム以外の元素をさらに含む、
請求項６に記載の電極。
【請求項８】
前記活物質は、リチウム含有遷移金属酸化物である、
請求項１から７のいずれか一項に記載の電極。
【請求項９】
前記活物質は、ニッケルコバルトマンガン酸リチウムである、
請求項８に記載の電極。
【請求項１０】
正極と、
負極と、
前記正極と前記負極との間に配置された電解質層と、
を備えた電池であって、
前記正極および前記負極からなる群より選択される少なくとも１つが、請求項１から９のいずれか一項に記載の電極である、
電池。
【請求項１１】
前記正極が、請求項１から９のいずれか一項に記載の電極である、
請求項１０に記載の電池。